ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

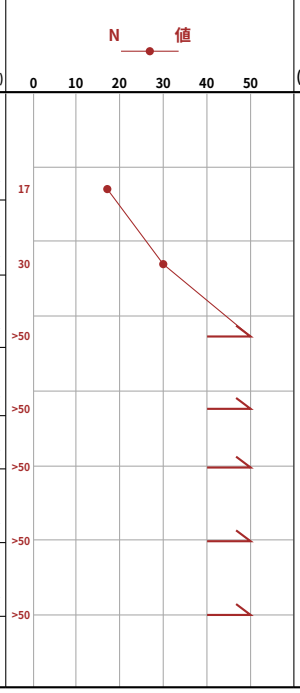
シートNO.

ボーリング名	B-3(No.3+15L-11.5m)	調査位置						北　緯	36 ° 54 ' 19.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所　整備部　整備第一課			調査期間	2010-09-29 ～ 2010-09-30			東　経	140 ° 07 ' 52.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	207.21 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 15.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	7.02 m							試 錐 機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					礫混じりシルト (M-G)	暗褐			均質なシルトであり崖錐性の礫(φ2～40mm)が混じる		
1	206.21	1.00	1.00								
					強風化頁岩 (Sh)	灰褐			[2.00]泥岩，固結粘土状を呈す [2.00]所々に頁岩を礫状又は転石状に残す [3.00]岩質は非常に脆く軟質 [3.50]3.40～3.70m間は褐色に酸化している [4.00]標準貫入試験試料では岩盤構造が見られる		
2											
3											
4											
5	202.21	4.00	5.00								09/29
					風化頁岩 (Sh)	暗褐灰			岩質は風化しやや不良 概ね柱状にて採取出来るが割れ目が多くコア短い 割れ目に沿って軟質な破砕部を挟む		
	201.41	0.80	5.80								
6					頁岩 (Sh)	暗灰			岩質は概ね新鮮である 割れ目多くコア短い コア長はL=5～10cmが主体で，最長L=20cmである		
7	200.19	1.22	7.02								09/30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	4	9	17／30	17
1.45					
2.15	8	11	11	30／30	30
2.45					
3.15	20	20	10／7	50／27	>50
3.42					
4.15	22	28／9		50／19	>50
4.34					
5.00	50／4			50／4	>50
5.04					
6.00	50／3			50／3	>50
6.03					
7.00	50／2			50／2	>50
7.02					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日